

コード No. 28085

**Anti-Human
LRG (329) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : 歩行障害、認知症などの症状を示す高齢者の特発性正常圧水頭症(iNPH)と鑑別すべき疾患の中には、アルツハイマー病、前頭側頭葉変性症 (FTLD)、パーキンソン病関連疾患などの神経変性疾患があります。 iNPH は脳室腹腔短絡術により治療することが可能であるので、早期に神経変性疾患と鑑別可能な髄液マーカーが求められてきました。新井、宮嶋らは、iNPH の脳脊髄液中に leucine-rich alpha-2-glycoprotein (LRG)が高濃度に存在していることを同定し、その測定が iNPH の鑑別に有用であると報告しています。
本抗体は、ヒトの脳における限局した部位のアストロサイトを染色することができます。また、ヒトのアストロサイト培養細胞、および、グリオーマ細胞を染色することも可能です。

免疫抗原 : Human LRG の C 端部分合成ペプチド (CAGPEAVKGQTLLAVAKSQ)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5 µg/mL にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片 : 前処理なし、凍結切片 : 30µm、フリーフローティング法)
蛍光染色 約 1 µg/mL にて使用可能 (Alexa 250 倍)
: ウェスタン・ブロッティング 1~5 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Lins H, Wichart I, Bancher C, Wallesch CW, Jellinger KA, Rösler N. Immunoreactivities of amyloid beta peptide((1-42)) and total tau protein in lumbar cerebrospinal fluid of patients with normal pressure hydrocephalus. J Neural Transm. 2004 Mar;111(3):273-80.
2. Li X, Miyajima M, Mineki R, Taka H, Murayama K, Arai H. Analysis of potential diagnostic biomarkers in cerebrospinal fluid of idiopathic normal pressure hydrocephalus by proteomics. Acta Neurochir (Wien). 2006 Aug;148(8):859-64.
3. 宮嶋雅一, 正常圧水頭症の髄液動態検査, Clinical Neuroscience. 24(11): 1259-1262, 2006
4. 宮嶋雅一、李仙鋒、新井一、特発性正常圧水頭症における髄液のプロテオーム解析 -Leucine-rich α-2-glycoprotein (LRG) を中心に - 医療 60(7):438-441,2006
5. 中島 円、宮嶋 雅一、野中 康臣、荻野 郁子、新井一、順天堂大学医学部 脳神経外科、『Leucine-rich α-2-glycoprotein (LRG)の正常圧水頭症における役割』第9回日本正常圧水頭症研究会プロシーディング